

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

【基本的な事項】

・ 期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。

様式第3号

カテ ゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・ 労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	●雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件および職場環境において、差別がない体制・運営を徹底している					○			○		○						○	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	●職場におけるハラスメントの防止に関する規則を定め、「ハラスメント防止宣言書」を作成し、すべての従業員が互いに尊重し合える、ハラスメントのない安全で快適な職場づくりに取り組んでいる ●ハラスメント相談窓口を設置し、社内イントラネット等で周知している					○			○								○	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	●過重な勤務とならないよう適正な労働時間を管理し、所定外労働時間が一定時間を超える従業員へは、管理職との面談や産業医面談を行っている ●長時間労働防止の一環として、全社一斉の「ノー残業デー」の実施や、有給休暇取得促進日やアニバーサリー休暇の導入、テレワークや短時間勤務・フレックスタイム制等、育児等に積極的に参画できる環境を整えている ●次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定」(厚生労働省)を取得している								○									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	●【非該当】現在、外国人労働者の雇用はしていない				○				○		○							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	●衛生管理規程を定め、安全で衛生的な労働環境の整備について周知を徹底している			○					○									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	●こころの健康診断として、ストレスチェックを毎年実施し、セルフケアの促進を図っている ●産業医と相談しながらメンタルヘルスを良好に維持できる対策を講じている			○														
	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	●「山梨えるみん」の認定企業 ●「くるみん認定」(厚生労働省)の取得 ●「プラチナくるみんプラス」の認定 ●育児介護休業制度や両立支援制度の充実と施策に取り組み、多様な人材が活躍できる環境を整えている ●IT企業ではあるが、採用活動において理系・文系に限定せず幅広い人材を採用し育成している ●定年後の再雇用者も活躍できる環境を整備している ●従業員の子どもを預けられる保育施設と提携している 現在育児で利用している従業員はもちろん、今後結婚や出産を検討・控えている従業員員連にも、安心して仕事に集中できるように環境を整えている ●「令和2年度 甲府市女性活躍推進優良事業者」を受賞した 女性の仕事と子育てとの両立・就業継続を支援する取り組みや、働き方改革によるワーク・ライフ・バランス実現に関する取り組みなど、女性の活躍推進に取り組む事業所 ●毎年3月8日の「国際女性デー」に合わせて、各事業所にミモザのお花を飾り、ジェンダーについて考える機会を設けている					○			○		○							

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	●「やまなし健康経営優良企業」に認定 ●「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」の認定企業 ●一人でも多くの従業員へワクチンを提供できるよう、かつ同日同時間に接種をすることで集団免疫が形成され、リスクを軽減することができると考え、オフィス出張インフルエンザ予防接種を実施している ●人間ドック等の健康診断等に係る経費補助を行っている ●全従業員が利用できるフィットネスクラブを3か所用意、加入する健康保険組合(ITS)を通じ、保養所や運動施設、さまざまなサービスの利用が可能 ●健康経営とエコ活動の一環として、社用自転車(YSKエコバイク)を導入し、オフィス間の移動や近い客先を訪問する移動手段として活用している ●始業前と15時にラジオ体操を実施している ●「ガンバリ タイム(集中タイム)」を設け、決められた時間帯は、禁煙及び着席を心がけ、「業務の質と量」の向上を図っている				○				○										
	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	●スキル研修などを通じた生産性の向上と経営理念や方針を浸透させ、事業の健全な遂行のため、カリキュラムに取り組んでいる ●資格を取得した従業員に対して、受験費用の支援および資格に応じた報奨金を授与することにより、積極的な資格取得の支援を行い、技術や知識の向上を図っている ●上司による指導体制(OJT等)を整備している ●次世代育成の観点も含め、従業員が安心して働き続けられるよう、仕事と生活の両立ができる環境づくりを推進している ●従業員のエンゲージメントを強める「社内ポイント制度」を取り入れている				○				○	○									
	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	●ハローワーク等との連携を図るなど、多様な人材の採用活動を行ない、業務内容や研修・福利厚生、その他の待遇についても、同じ制度・同じ条件を提供している									○		○							
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	●廃棄物削減のための方針や計画を策定している ●食品ロスの削減に取り組んでいる(フードドライブ・食べきり2020運動) ●分別廃棄(燃えるゴミ・廃プラ・古紙・ペットボトル・ビン・アルミ缶・スチール缶など)を実施し、適正処理に努めている											○	○		○				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	●エネルギー使用量を把握しており、LEDの使用を徹底し、オフィスの節電に取り組んでいる ●社有車のガソリン使用量とCO2排出量の把握で、環境保全に役立てている ●エコドライブの推進と安全運転講習会を実施し、日常の運転マナーとして、全従業員へ啓発活動をしている ●全従業員を対象に、年6回のエコ通勤に取り組んでいる ●エコ活動と健康経営の一環として、社用自転車(YSKエコバイク)を導入し、オフィス間の移動や近い客先を訪問する移動手段として活用している ●社有車はハイブリッド車をはじめ燃費効率の良い自動車を採用している ●【予定】ハイブリッド車を順次、電気自動車に切り替えていく								○					○					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	●CO2排出量を算出し、削減に向けた計画を策定している ●施設の照明をLED化するなど、省エネを徹底している ●定時間後の不在エリアの消灯を推進し、電力使用量の削減に努めている ●適切なエアコンの温度管理及び消費電力が低い機器の導入を推進している ●会社からボロシャツの支給やブルゾンの貸与をして、過剰な冷暖房を抑止することを推進している(クールビズ及びウォームビズの実施) ●オフィス緑化(オフィス内・オフィス周辺)に取り組んでいる(一部で野菜栽培の実施) ●経済産業省による「ゼロエミ・チャレンジ企業」に選定 ●経済産業省が脱炭素社会の実現をイノベーションで切り拓く企業を選定しリスト化するもので、日本経済団体連合会やNEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)連携して実施している								○					○	○				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	●【非該当】法令等で規制されている有害化学物質は扱っていない			○				○					○	○					

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
5	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	●産業廃棄物の分別を確実に行い、環境への負荷の削減に努めている ●環境に配慮した原材料、製品の安全性、サービスの提供を通じて生物多様性保存に配慮している						○									○			
6	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	●公共上水の使用量を把握している ●使用量の削減計画を策定している						○												
7	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	●国際規格ISO14001:2015認証(登録番号:EC05J0370)を取得している ●EMSの遂行状況は内部監査で点検し、不適合事項は是正している ●EMSの運用には国際標準規格のISO14001を活用し、PDCAサイクルを回して継続的な改善を図っている				○		○	○					○	○	○	○			
8	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	●定期的に開催している環境管理委員会などで情報を開示して、共有化に努めている												○						
9	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境								○						○					
10	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	●プリンターによるコピー用紙は、FSC森林認証紙(古紙パルプ配合率70%以上)を使用し、天然資源の再利用に努めている												○	○	○	○			
11	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	●資源利用の削減、資源の再利用、再資源化を進めている ●裏紙利用やペーパーレス化を促進している						○					○	○	○	○	○			
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	●汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている																○		
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	●不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している																○		
	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	●特許、商標等知的財産権の取得・管理をしている								○	○									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	●プライバシーマークJIS Q 15001:2017(登録番号:10820600)を取得している ●個人情報保護に対する基本方針を定めて公表するとともに、体制を整備している ●従業員に対し研修会を行い、情報管理ルールの周知徹底を図っている																	○	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	●【非該当】紛争鉱物を取り扱う事業は実施していない																	○	
17	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会						○			○		○		○	○	○	○	○	○	

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	●情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格であるISO/IEC27001:2013認証(登録番号: IC03J0050)を取得 ●情報セキュリティ基本方針を定め、グローバルでのセキュリティ事故への対応体制の確立、サイバーセキュリティ対策の実施、お取引先様の情報セキュリティ状況確認、製品セキュリティの強化を実施している ●情報セキュリティマネジメントシステムの規程に沿って、製品・サービスに対する安全性の検査を実施し、出荷を行っている			○									○					
29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	●品質方針を定め、それを全従業員が共有し実践することで、お客さまに満足していただける商品とサービスの提供を追求している ●顧客へのアンケート調査や意見を聞く仕組みづくりを行っている ●お客さまに安心してサービスを提供するため、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001:2015認証(登録番号: QC10J0062)を山梨県内のソフトウェア業界で初めて取得した									○								
30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	●FSC森林認証紙(古紙パルプ配合率70%以上)のコピー用紙を使用している						○						○	○	○	○		
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	●スマート農業への取り組み 高品質なぶどうを作るには房づくり・摘粒作業など長年の経験を持つ生産者の「匠の技」が必要となるが、AIやローカル5Gを活用した作業指示をスマートグラスに投影することで、新規就農者や雇用労働者でも熟練した生産者と同等の仕事ができるようにすることを目的としたプロジェクト ●ICTやAIを活用したデジタル化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる ●書類の電子化(ペーパーレス化)等を進め、従業員のテレワーク体制を整備している	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	●地域の清掃活動やスポンサー活動への参画など、積極的に地域貢献活動を行っている ●未来を担う子供達への教育支援の一環として、職場体験学習やインターンシップの受け入れを毎年実施している ●地域未来牽引企業 (経済産業省より選定された地域経済の中心的な担い手となりうる事業者) ●"天の川の見える美しい星空を次世代に"を合言葉に活動する「ライトダウンやまなし」に協賛し、私達の住む山梨にきれいな星空を取り戻すための活動している				○					○		○	○		○	○		○
33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	●輸血を必要としている方の命を救うため、献血推進活動を実施している ●フードドライブを実施し、フードバンク山梨様へ寄付を行っている ●乳がんの正しい知識を広め、早期発見の重要性の呼びかけ、乳がん検診の啓発運動や寄付などを行っている(ピンクリボン運動) ●社会貢献活動の一環として、お客さま・従業員の皆さまに不慮の事態(心肺停止等)が発生した際に、迅速かつ効果的な救命措置を行うことを目的として、各拠点にAED(自動体外除細動器)を設置している ●エコキャップ・使用済み手・カレンダー・手帳を毎年収集し、ボランティアセンターなどを通じて、途上国の支援などに役立てている				○							○			○	○		○
34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	●地域の原材料を優先的に利用している ●毎月の給与日に、福利厚生品を支給している 支給品は、地元山梨の食品、季節に合わせた商品など毎月バラエティに富んでいて、モチベーションの向上、定着率の向上などにも効果を発揮している								○	○		○	○	○				

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
組織 体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	●法令順守(コンプライアンス)の重要性を全従業員に向けて発信している ●コンプライアンス研修を実施し、従業員に対し周知・啓発を行っている																	○	
	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	●経営者が経営理念を明文化し、社内報、定例会議、朝礼などで理念や目標を従業員に説明し、共有している								○	○									○
	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	●法令遵守の方針、手順などの体制が整備されている																	○	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	●環境管理委員会の積極的な活動、品質管理責任者による品質の維持など行っている ●個人情報保護管理者、環境管理責任者を任命し、事務局、各部門管理者の体制を整備している																		○
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	●マネジメントシステムに基づき、リスクの特定・評価を実施し、取り組みを明確化している																		○
	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	●法令順守、環境対応などに積極的に取り組んでいる ●地域での雇用創出に努めている ●CSRの考えに基づき、SDGsの実現を目指した方針を策定し、事業や活動において貢献する																		○
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	●幅広いステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、環境経済社会貢献に努めている ●顧客へのアンケート調査や意見を聞く仕組みづくりを行っている ●各事業所で自治会に加入し、地域コミュニティを深めている																		○
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	●防災への取り組みや、事業継続計画(BCP)策定等の推進に取り組んでいる ●定期的に防災訓練等を行っている									○		○		○				○	
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済	●後継者の指導・育成に取り組んでいる ●技術や知識の承継に取り組んでいる									○	○								○
【記載留意事項】 ・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。) ・「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 ・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画(2021年改定版)」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むSDGsに関する内容(水素・燃料電池、4パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど)を活用している場合も併せて記載してください。(次項の【その他独自に行っている取組】も同様。)																						

【その他独自に行っている取組】

[illegible]